

中頭指導行政の基本方針
重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造

～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

育成をめざす資質・能力

- 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

国・県の施策

- 【学習指導要領・総則 平成29年】発達段階を考慮し、学校の教育活動全体を通して
○健康で安全な生活
○豊かなスポーツライフの実現
○食育の推進・体力の向上
○安全に関する指導
○心身の健康の増進
○家庭や地域社会との連携
【学校教育における指導の努力点 令和5年度～令和9年度版】
○「5 健やかな心と体を育む教育の充実」
○「15 食育の推進」
○「16 学校安全・防災教育の推進」

重点事項「わったーわらび」の学力保障と成長保障

長期目標：持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成

総括目標：幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

基本方針

- 学校の教育活動全体を通じた体育・健康に関する指導の推進
○ 体力の向上
○ 健康の保持増進
○ 危機回避能力の育成
○ 部活動の充実・適正化

取組事項

- 1 全校体制による体力向上の推進(一校一運動等)
2 食生活や生活習慣に関する指導の充実
3 学校安全・防災教育の充実
4 学校・家庭・地域社会と連携した健康教育の充実
5 部活動(スポーツ少年団も含む)の充実と適正化
【基盤となる取組】…生活リズムの確立「早寝・早起き・朝ごはん運動」

令和5年度状況

- 全国体力・運動能力調査
【小学校】全国を上回る種目
男子：ソフトボール投げ
女子：ソフトボール投げ
【中学校】全国を上回る種目
男子：持久走・立ち幅跳・ハンドボール投
女子：持久走・立ち幅跳・ハンドボール投
▲小中ともに柔軟、20mシャトルランに課題
□ 肥満度(%)の数値は全国平均
【小】男子：15.3%(13.7) 女子：13.0%(9.8)
【中】男子：13.7%(10.6) 女子：10.2%(7.0)
□ 薬物乱用防止教室の実施率
小学校：93.9%、中学校：90.9%
▲100%を目指す

家庭の取組

- (1)生活リズムの確立
①「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進
②「食べて 動いて よく寝よう」
(2)望ましい食習慣の確立
①「日本型食生活」
(3)家族で日常的なスポーツや遊びのすすめ
①「家族で挑戦！がんばらうアップチャレンジ！！330」

地域の取組

- (1)子供が安心して運動・スポーツ外遊びができる場づくり
(2)子供が校外運動・スポーツに参加できる機会や情報の提供、場所等に拡充
(3)地域人材の活用による体験活動の展開
(4)子供の基本的な生活習慣に係る課題について共通理解

学校の取組

保体・健康に関する指導の適切な実施

1 体育に関する指導 (1)体力向上推進委員会等の開催 (2)体育・保健体育科の授業改善 (3)教育活動全体を通じた体力・泳力の向上
2 安全に関する指導 (1)学校独自の危機管理マニュアルに基づく安全教育の充実 (2)防災・防犯訓練、交通安全教室等の参加・体験・実践型教育 (3)関係機関(地域、警察、消防署等)と連携した安全教育の充実 (4)児童生徒の危機回避能力の育成、AED操作等の習得や心配生法に関する校内研修等の実施
3 食育に関する指導 (1)学校給食や関連教材・領域で実施 (2)自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化(体育科や技術・家庭科、給食、栄養教諭等との連携)
4 心身の健康の保持増進に関する指導 (1)学校保健委員会の計画的実施 (2)喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育やがん教育、性に関する指導の充実 (3)学校教育全体で共通理解(ガイダンスとカウンセリング) (4)保健室機能・経営の充実 (5)感染症対策の徹底

学校の活性化に
効果の期待できる取組

- 1 校長講話(めざす姿の共有)
2 指導案作成と授業実践
3 授業を補充する取組
4 五者会等へ学校事務職員が参加
5 学校評価の分析・活用
6 校長による授業参観と助言
7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
8 校内教育支援委員会の充実

取組1

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化

取組2

「自学自習力」を育む取組の充実

取組3

「学習基盤としてのICT」による児童生徒の学びに主体性を育む取組の充実

取組4

自校の「目指す児童生徒像」実現に向けた校内研修の充実

取組5

「指導と評価の一体化」実現のためのPDCAサイクルの確立

バランスよく実施する体育科学習・学校保健・学校行事

Table with 4 columns: 視点1 自己肯定感の高まり, 視点2 学び・育ちの実感, 視点3 組織的な関わり, 改善ツール (具体的な教育活動の取組等). Rows include strategies for physical education, safety, nutrition, and health education.

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

中頭地区学力向上推進委員会【共通確認・共通実践事項】
しっかり教える (モチベーション(教えて「価値」形) コーキング(考え、実行さめ)「強化」(修正) フードバンク(価値付ける)「勇気づける」)
じっくり考え、させてみる (主体的な学びづくり 子供が学び合う授業づくり 「主体的・対話的で深い学び」 学習規律づくり よりよい学校・学校をめざす組織的な活動 支持的風土の醸成)
たっぷり価値づける (子供自身が自分への信頼を高める 「勇気づけ」 「ほめ言葉」 「承認」)
自己肯定感の高まり

2020年代を通じて実現を目指す学校経営
育成を目指す資質・能力 自立・協働・創造 (自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造)
新たな時代における学びの姿 (個別最適な学び ↔ 協働的な学び) 一体的な充実
中頭指導行政基本方針 重点事項(検討中) 中頭型ウェルビーイングを目指して 「わったーわらび」の学力保障と成長保障 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 キーワード：「リリッ」「きょうどう」「そうどう」

学校の指導体制の改善・組織文化の創造

学校・家庭・地域・関係機関との連携・協力